

令和7年度も帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成します

令和6年4月から帯状疱疹の発症予防及び重症化予防を目的として、帯状疱疹ワクチンの任意接種費用の一部助成をおこなっています。国は令和7年4月から65歳以上の5歳刻みの方を対象に接種を開始しました。大崎町は、国より早く、また対象者の年齢層も広げて助成をおこなっています。

！ 帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏していて、過労やストレスなどで免疫機能が低下すると、ウイルスが再び活性化して、帯状疱疹を発症します。発症すると、皮膚の症状だけでなく、神経にも炎症を起こし、痛みがあらわれます。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。

帯状疱疹の合併症として、皮膚症状が治った後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛（PHN）」があり、50歳以上で帯状疱疹を発症した人のうち、約2割がPHNになるといわれています。

● 帯状疱疹になったら

帯状疱疹の治療は、早めにウイルスの増殖や痛みを抑えることが何よりも重要です。じっとしていても痛い、原因のわからない痛みが体の片側に起こり、そこに発疹が出たら帯状疱疹が疑われます。発症早期に治療を開始するほど効果が期待できますので、症状を自覚したら早めに医療機関を受診しましょう。

● 帯状疱疹にならないために

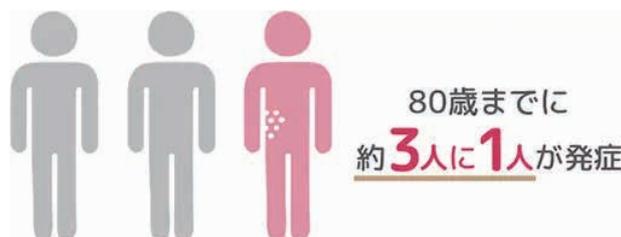
帯状疱疹の予防には、規則正しい生活習慣や適度な運動など、日頃から体調管理を心がけ、免疫機能が低下しないようにすることが大切です。その他に予防接種を受けることができます。

※予防接種は帯状疱疹を完全に防ぐものではありません。

● 助成対象者

接種日において、大崎町に住所を有する満50歳以上の方。

※同様の接種費用の助成を受けたことがある方は、助成の対象外です。



出典：「グラクソ・スミスクライン株式会社(帯状疱疹予防.JP)」